

新撰

北任土寸子

卷之二

浅草

浅草寺 浅草 花川戸
新寺田 山之宿

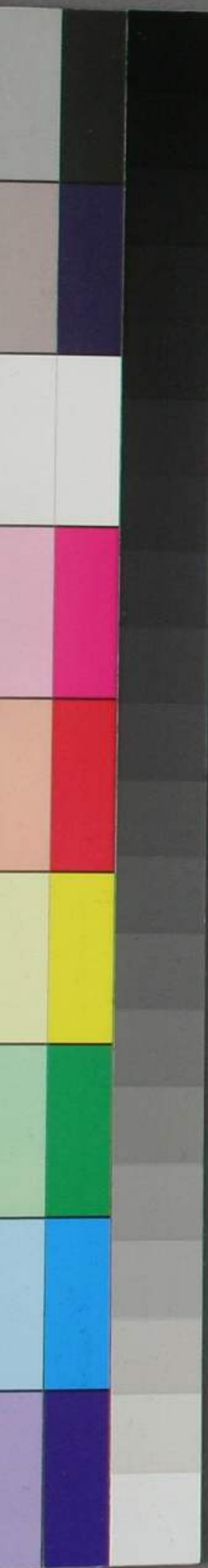
今戸

松場 山谷 小塚原
栲材宿 千住

下谷

池沼 坂中 金板
表輪 通新所

儿 6
3228
2



凡4
3228
2

江戸破子温故名跡誌卷之二

沾涼纂緝



豊島郡岐田領

⑤ 淺草 花川戸 山之宿 新寺町

同

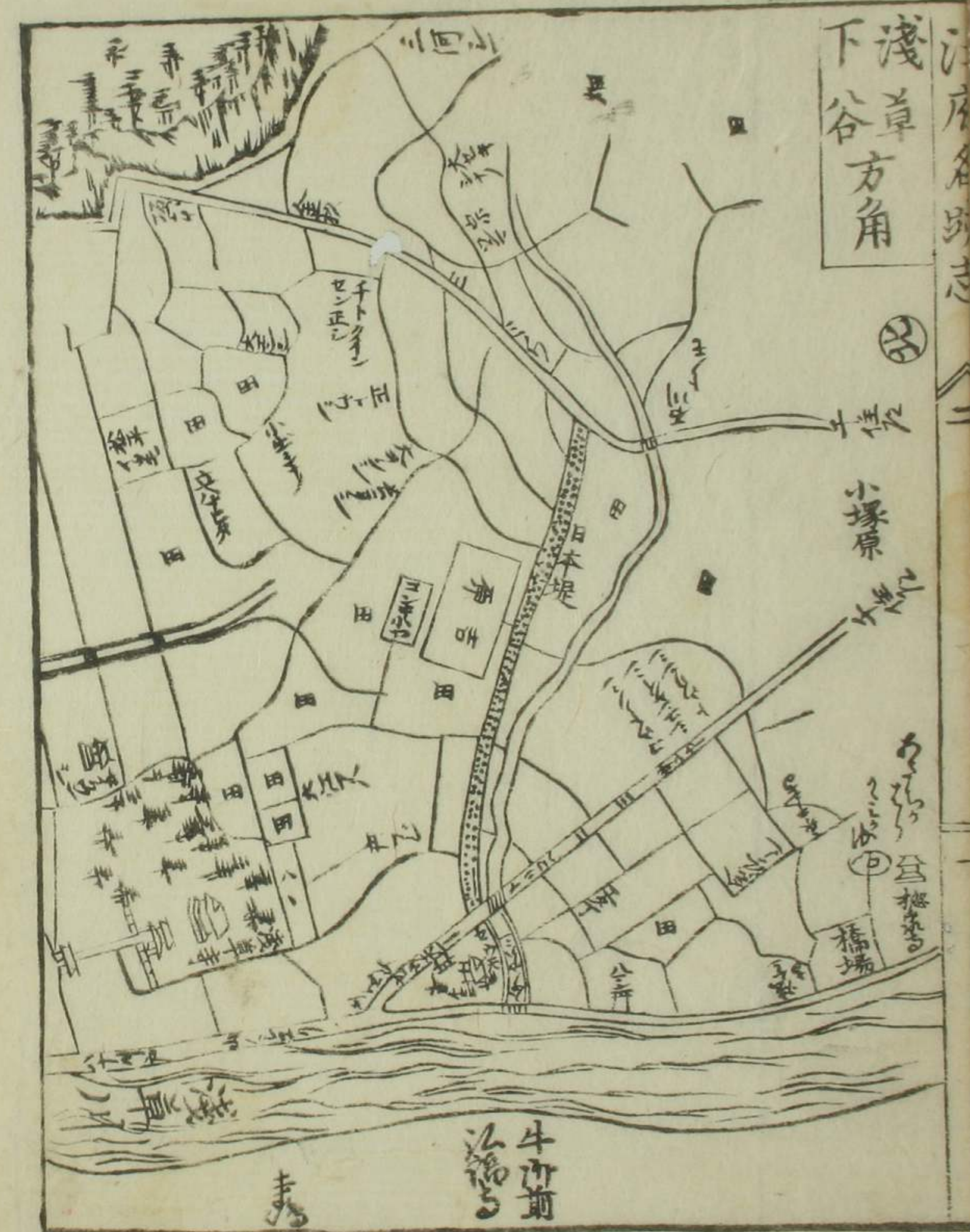
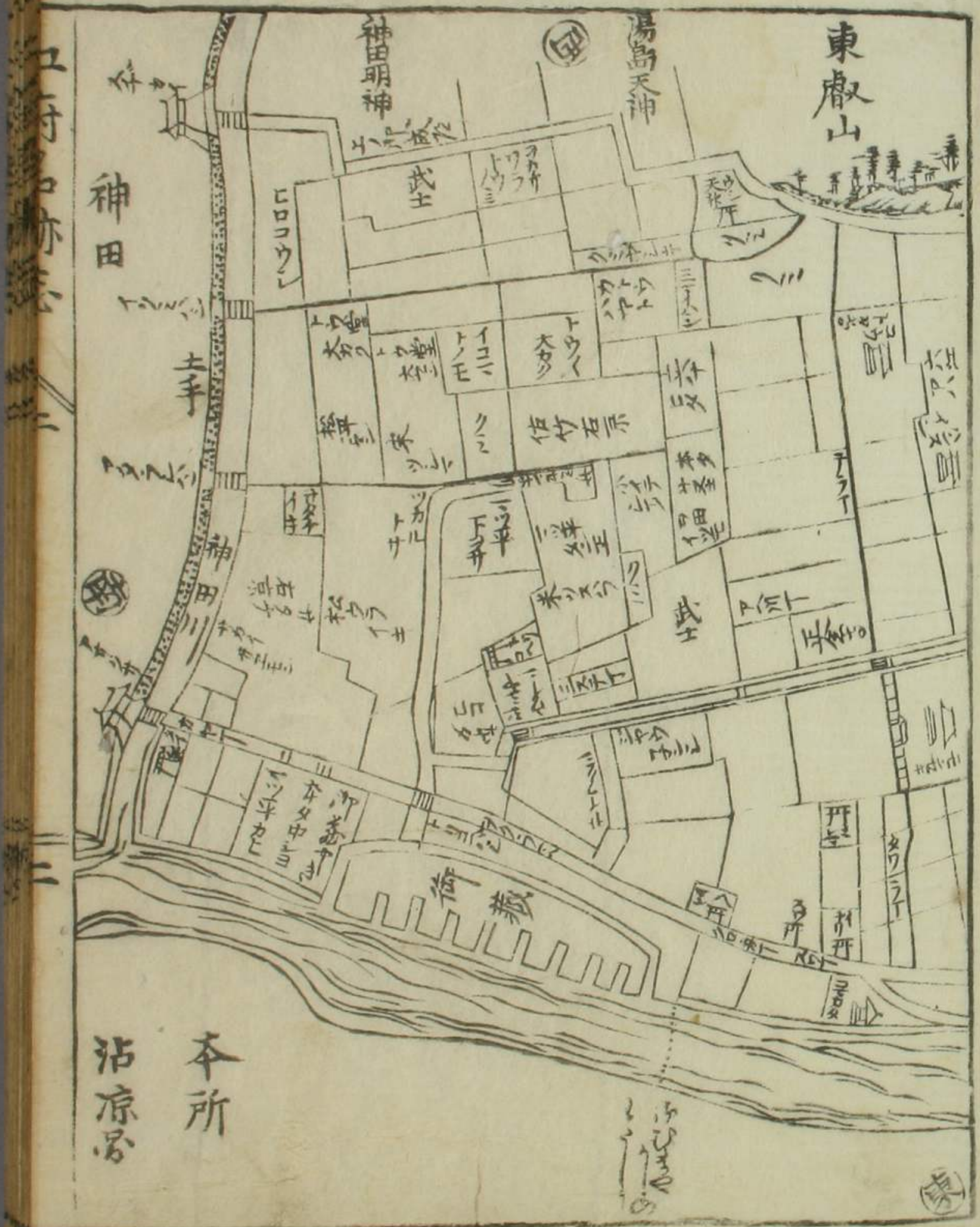
⑥ 今戸 橋場 山谷 新吉原

足立郡洲原千住

同

⑦ 下谷 池之端 坂本 金杉

江戸名跡



五 浅草 花川戸 新寺町

○第六天神社 浅草寺門乃介 神主 錦木出羽守

祭神 面足尊 惶根尊 乃足天神才六の友神なりて才六天神と云神皇正統記天神六代間有名無取五位神座△五の配とる△此の土徳の神△又説大六天△麻ま醜うし修しゆ羅ら王わう乃才六

他化自在天の主なりけ天欲界の才六と云ふはかく思となり
祭社二月十五日 元所若草あり享保四年西よりうつる

○篠塚稻荷社 月西 新田義貞の長篠塚信重を流流しあるありし故土の稲の

と先稲を稲穂しけりしと云ふ又説けりしつる稲のありし
篠塚大味神と云ふしありし稲荷の都なりといふ

○鬼脚八幡宮 岩崎のゆゑ大木の浪香ありありしと云ふ
○十王堂 街若草 真鏡山宝理院大國寺 上野末

○闇魔堂 即若草 杉光山理性院長延寺 上野末

意美大師の用基澄古下野のほよありしと云ふ武子

の碑あり文永十一年の秋あり寛永十九年東義末の
本尊 闇魔王 長二丈六尺 運慶の作

三途川老婆 長六尺 中より日本し 月化
化馬地藏 又油け地藏といふ 聖徳太子の化 源記毒一故跡と
毎年正月七日の十六日糸流御祭に

○鳥越大明神 元若草町に在 神主 錦木七郎守
祭神 天兒屋命 日本武尊 二座と云ふ日か亥子の東夷征伐の

後よりありしと云ふ亦平親王将門の美を奉りしと云ふ
そのむくろけを奉りて神田より移りしと云ふ

難を神田と云ふしと云ふ土俗の流ありしと云ふ
為社の社名なり九百年にかうありしといふ

境内もびろろしとし正保三年正月徳川家康の代世三谷
 みてくさくそのおの社ありて新を然と云ふ所の社あり
 福ひらるる中一の世をりえのあはくはあはくはあはり
 新を然と對して之を元を裁と云ふ事いふ事又審
 あり寛政紀行曰天明十八年十二月九日隅田川のを裁と
 いふ海村の善鏡といふおありかぬ宅の屋中よりして
 雨村のあめおけの令史有る事ありしゆは十九年
 のえりよ享保十七年三月九日二百六十一年余り
 治まるとの殿をうけつははくはぬの事いふははくはぬ
 五日 立春
 去らふまともいふびびのたかむむかたみよの屋
 此記ありしを足通と云ふ名も裁もむむしうの事と
 又いふ正保のころありしまらるるありしを裁と云
 うりてはあはり社地のりりるをわさるるなり
 當江祭記六月九日隔年し

○名越橋

此所の斬罪場ありしゆは子孫の名付たるしこつころ
 なる故甚也といふ遊ものけりしゆは正保なりなり
 かのものその時癪をけりしゆは未だ云ふ人死る
 たり世よかろしゆは今いふいふいふ我死て後この
 水中に魂ををともぬ瘡を痛むもの家をいひのこ
 きていふら金とていふとらうらうらうら死るもの何者か
 つらうらうらをいふもの自紙のやうな事いふこと
 事いふことして此川に流せしゆははくはぬなりなり
 死成終の時地をいひなりしゆははくはぬ俗人いふゆ
 ○海蔵 魚より大河の湖より此所を海蔵と云

○八幡宮 小倉

是を又殊院の八幡と云ふ最又殊院といひて高野の
 行人流の限かりしゆは任院あり行人流の勤の好記録

五羊のころ岩清水八幡宮をうつさせり

○栢寺 日本 池中山正覚寺 増上寺末 妙法寺

洞山觀智国師 現任念徹和尚 塔中 哲相院 宝壽院

地藏堂 二佛 五輪乃後なり

昔寺と栢寺とありて境内に大木の栢ありて

ふかきところありてありある時和尚因基すよ山伏一人忽

来りて此栢を乞ふそのふりせりおまらこの木なり

記して遠列秋葉山に此栢ありてを乞ふとて渡り

○栢の因 ちうふらふ 此栢は表向をたかりて

あるがより 大行系形下へ置て少し表の面を

○里 船町 びりー 運取破取の具けある

○早玉并天 神主曾根外記

稻荷熊野 三社勧清 本取用

○諏訪社 別當 修善院

信列 諏訪を勧清 正統記曰 大物主神子健御名方美神

者事代主弟也今 諏訪明神是也 諏訪託宣曰 業盡有情 雖

放不生 故宿人中 同證 佛果 又神功皇后三韓を征

終小町天照太神託 任吉明神 諏訪明神を以輔佐

信列の 諏訪野列 宇都宮 宮中 狩獵 して多歎を供と

○清水稻荷社 ことばのかわ

当社の上野法あるのわにわりの元祿年中 中堂は建立の

くはして弘法大師 回向のつたは桶をいける老女は水と

を流すもまづらふをせめて 蛇のふ高ふりけるの

下りて汲くふして 大師おぼし 独結をひて地をく

きらしきふらふ涌出にそのふの大師稲荷を勧清

ふらふけを法水村と云ふの法水東殿の西のうらに今にあり

法水門といふもまづらふ村の門をなせし 今に甲子の地の

廣小強なり 一々当社又いふ明神をいへり

○三嶋社 江戸編舟の西堀家の中一三島の也亦

あ社上野のありと坂本有元孫太郎一討これもあつた
神社考曰聖武天平五年三島明神現ス

○駒形堂 浅草の川も 世本流方のいかに船もあつた

朱雀院所宇天慶五年に安房太守平公雅建立なり云
かき馬匹観音ししうくくるをゆりて法衆をゆるす
う馬堂の中よみらくくりにさるるて世俗駒形堂と
川きしし浅草寺の経藏宣名之碑あり此録をててをさるる

○濂淵 駒形堂の北あり
びー浅草寺の北あり種をさるるいこつ測の年と浅草寺

○浅草川 上荒川と云隅田川宮戸川とも云ふ船一浅草り
浅草野川の名ありし△浅草海若高木の名ありし△はらり

○並木町 此れいしし松葉町ありし今八茶所しし毎屋若
扇形鯉魚かきしし八茶所あり

○藍深川 雷神門のふかの廣た東の方の小海を云

○花方波 竹冊のいししをりし○花川戸 ○山の嶽

○一権現 信よありん堂と云 別當現主院

浅草寺の親善水中より出現の対しして下り草堂と
遠く 勢をい柱とせししありあう堂といふありとあり

○浅草退分 山の名の先 千住流たし楊流たの退り也し

○聖天宮 金龍山本龍院 天台 浅草寺末

待乳山又真土山 聖天といふ云△井天社 かつま青 △胎内潜の石

新載集 命の勢を當ふりし松ありやる由い此ありと云 井草三三解

待乳山と云碑あり戸田恭光入道茂隆也
あつたといふありし人なりとすつたのいししありと云

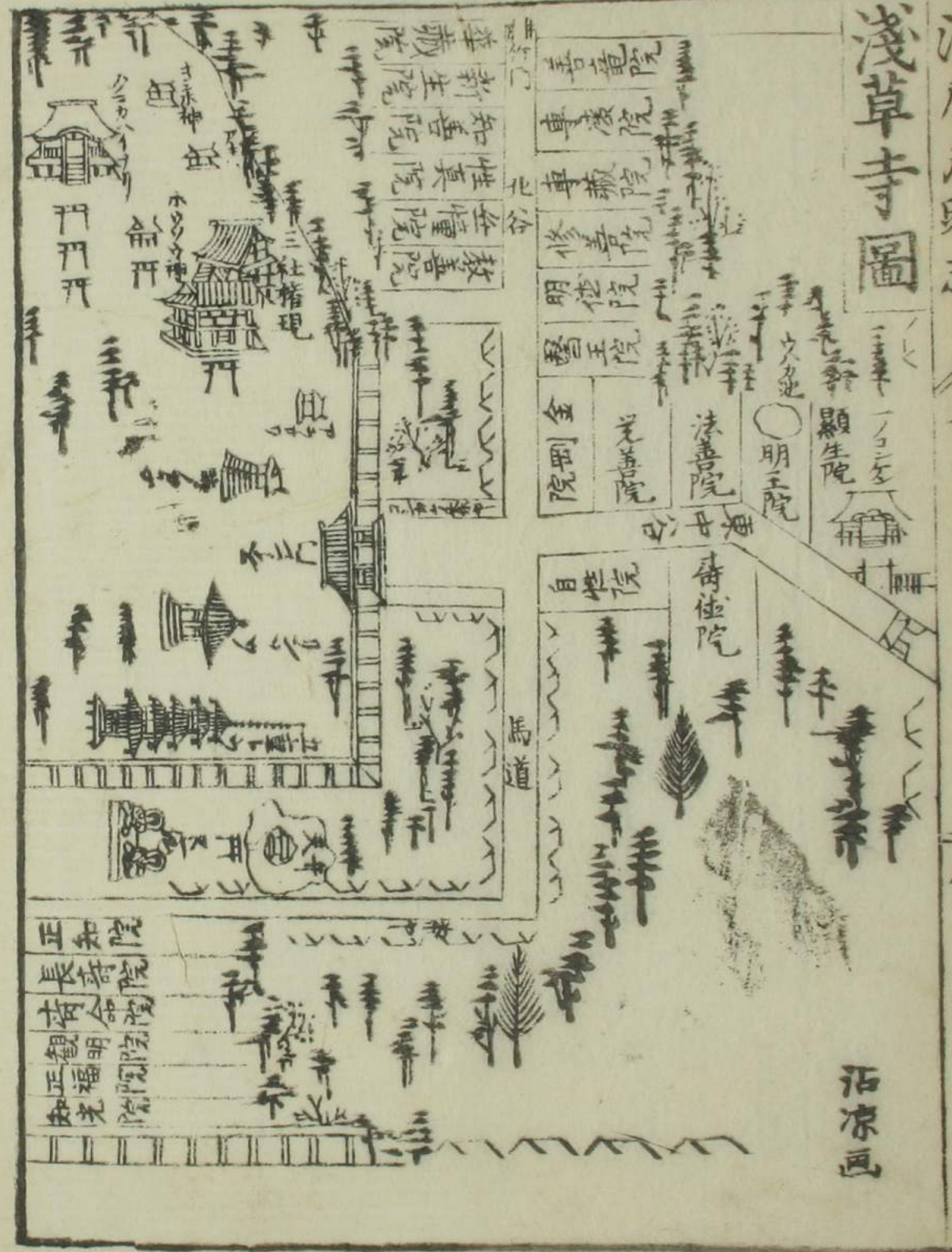
此後縣入の寛文のころの争り多し大坂の略ははるごその諒あり
 △此の森沖より入津の社の目ありなりと云む一は六川
 東本の多海なりと云ふ所の目のありたり今も東本六川
 小松川をなすと云ふと一沖の目をりたる跡のふとくなく一是
 の名も牛子のやうかゆありて奥津の住居に一ありあり一は六
 川の六一をわけて結果の世しあるなりと云ふ此は根津能
 根津のありの鶴居をいふなりと云ふ一王子より 遺傳

- 破利名池 此きさう痛と云 此のま世ゆ利とそこのゆ利と
- 浅間社 此のゆ地ゆゆとあり今ゆゆとゆゆとあり
- 馬場 飯場のゆゆとあり
- 社擗荷 ざらと
- 袖摺橋荷 ユムト
- 日本地 荒川の氷除地なり大河より義輪はくく九八下ゆ

○新吉原 傾城町 永曆三年八月元吉系よりなる一は新吉原の元吉系

慶長年中より定まる傾城町を二軒三軒ありとあり一は
 新を並べり一は頼明八十月の色より十四軒後念寺は又大橋の
 色ははとちとち一は柳町の六七軒柳一のたのき種念寺の傾城
 後府は勸所より一は柳町の六七軒今元極を新の第一と云ふ一は
 の一は新所ゆ月地は今元極を新の第一と云ふ一は新所ゆ月地は
 小田原の庄司勸所勸所の名を一は新所の地と下さる一は下
 一は新所ゆ月地は今元極を新の第一と云ふ一は新所ゆ月地は
 菴茅の沼く世原と云ふ一は新所の地と下さる一は下
 建揚ひりい実永三丙十月九月の暦二申十月新所ゆ月地は
 △廓二所四方の所別をいふ所一は廓一は廓と十をいふあり
 一は廓一は廓と十をいふあり一は廓一は廓と十をいふあり
 一は廓一は廓と十をいふあり一は廓一は廓と十をいふあり
 一は廓一は廓と十をいふあり一は廓一は廓と十をいふあり
 一は廓一は廓と十をいふあり一は廓一は廓と十をいふあり

淺草寺圖



江府名跡志

二

○金龍山淺草寺傳法院

寺額五百石

上野末

此寺觀音の灵像は人皇二十四代推古天皇の御宇進中臣と
いふ人ありと云ふ事ありて此の如き其後推古天皇
成代成りし人の足身を人の説きと云ふ事ありし
説きをいひて推古帝二十六代成子二月十八日人の足身を
川の沖に懸をたしにありしもの如き一月の如き
親善の仏法なり事をいひて此傳を在靈きその如き
乃ち此の如き事ありて推古をいひしもの如き
かくありありと云ふ事ありしもの如き三人の事をいひ
云々の如き事ありしもの如き事ありしもの如き
推古の如き事ありしもの如き事ありしもの如き
藤原の如き事ありしもの如き事ありしもの如き
あつた堂しつあり

△三社推現ハ三人の足身を祭りて三木の護法とありし

祭礼三月十八日 勝年 此を觀音祭と云

△十社推現 系所十人を祭

人皇三十七代孝德帝大化元年沙門勝海上人堂塔建より
少くもさつら此の如き事ありしもの如き

人皇六十六代朱雀帝天慶五年安房の國主平云雅
本堂塔門之堂の塔ありしもの如き 田園寺あり

人皇七十代白河帝兼暦三年十二月四日回祿

人皇七十六代道徳帝沙門源義朝奉詣あり回祿の時
此の如き事ありしもの如き事ありしもの如き
の如き事ありしもの如き事ありしもの如き
ありしもの如き

人皇八十八代高倉帝治承四年源頼朝三十六所の田園と
ありしもの如き事ありしもの如き

足利三氏寺額奉附ありしもの如き足利十三代將軍義隆
の時小糸家再興し忠善上人を祀りしもの如き

忠海上人の振列の住細川律師定禅の末葉修丹之河との
の子なり三河も若死のりありて未子を沙門にして
當寺の別當と成りて修丹遠く支家を以て修丹に
え流年中にありて知宗院鎌倉より遷院ありてあら
東叡山に屬す

御當家に至く大伽藍漸建之あり今も遺蹟建之也なり
本堂 南向 額 觀音堂 大明福澤郡龍邑筆

山門 額 淺草寺 筆者不知 每年正月十六日修丹の

中日法人樓に坐せりてを免す本堂天井の龍の物壁安信画

風雷神門 額 金龍山 三國筆海堂の筆なり

此門の南の窓門しは松の葉をありて今も所屋に

輪藏 五重塔 鐘樓 隨身門 門下

神明社 淡路社 熊野社 圓魔堂

浅塚井才天 あり由の末 石の裏に大黒 弘法大師の地蔵
あり由の末

△御供水井 あり由の末 六角堂地蔵の下にあり

慶長の頃沙汰ありし月を流し井なり

△慈光大師の遺座 徳野の中あり

△垣間尺飯 弘法大師のつきけに別當代々の墓あり

△三本指 八幡宮にあり 本堂のうしろ

八幡寺高 義家真列 征伐の時しを陣なりしとし
その折りてありてありてあり

△小所様 小所の石塔 古森子云 本堂のうしろにあり

石塔は別當のありしありてあり

△三社 三社控の末

△荒沃不動 日本 延宝年中にありてあり

△長石塔の地蔵 弘法大師の代ありてあり

△小豆八才目の石 ちりちりありてあり

△熊谷稻荷社

本堂乃ぐり

別当 照泰坊

石翁老人云貞亨の頃越前の太守二月三日に夜の大狩あり其の夜熊谷の
 日の先きの夜より前夜座の御座ありて云我は高木の狐の
 長たりの日の持場におおて我一族をいさぐめ給へと給ふ
 其たの云生命なきといつてその用捨おん忘し其の一族は下
 ありや言ておらく尾のさね白しと云お五日太守には事と
 御ふ奇異なる事なりと云士年より一尾のさねの白
 狐を尺四寸と一しといふたら其の狐十疋出たり
 其れを命をとりたりと云後其たの浪人して東文子
 身り浪河に任とての由をいさぐり小徳る所のおく堂まの
 障子作り深きあふ糸指し作り丸い水場先栗ののり
 としめて口締りおふおふハ羊まると男女お人し中隊と
 なるおふしおの悲ねれしと云くとい何日とてみ子細とす
 され越前の公の狐なり高徳若手なるといふ人存恩と
 その人存復のふ棟深より作をいさぐりて尚其あたるといふ

安丸夷らうたあがりよあるり一知人ありてむいふ狐射奪り
 平伏し一持物の存忠を報せんと其後乃先にはあつとて
 ともやうとてぬき夷あつとてその山寺に祈所はく小文と
 くのふ家内よきて稲荷とあむむゆとく小文のさなる位
 の家内と減りそのゆりくおの化をいさぐりては境内に
 その名をいさぐりて熊谷の稲荷と云と

△狩野の繪馬 本堂にあり 古法眼の筆をとりて
 わたし絵るあり此の筆をいさぐりて名画を夜毎に出く近き
 作をわくも農民これをいさぐりて沙堂の御へ入ぬ
 馬をいさぐりて四足は泥つとて其の筆をいさぐりて
 ありかの若云絵も服物も人のよる糸たういさぐりて
 下絵の心をいさぐりてとてあつとて網をいさぐり
 ともいさぐりてその筆をいさぐりて

△又米平也云湯石形 濡佛の法
 △濡佛ハ觀音勢至金剛梵
 此名形疑つとて本正三石平道人の門弟にて仁王座の形相の成

一ノ権現

祝生院

東中谷東の合

△亀ノ宮

わささ川よりありし亀

△槐

々々々々のありし槐

専堂治

々々々々のありし

齊堂治

牛玉の年 毎年正月六日正堂におく

孝音坊

牛玉の年

△此坊在徳成成太成の末

△此社の神興を

當りい坂東吹九十三番の九

一 番 山満寺

天神社

三 番 秀樂寺

林金寺

五 番 長吉寺

清林寺

七 番 光源寺

世々寺

九 番 兼福寺

清水

十一 忍岡稻荷

陳福津并天社地

十三 清水

正法院

十五 新光明寺

正樹院

十七 清水寺

天嶽院

十九 日輪寺

九品院

二十一 金藏院

淺草寺

二十三 自性院

泉亀院

二十五 勸成堂

回向院

二十七 西光寺

本誓寺

二十九 灵巖寺

正光寺

三十一 八幡院

増林寺

三十三 三十三間堂

日

○天ム口 宗 佛 閣

○東王山醫王寺東光院 上野末

岡之哀見大昨 一品尊敬教王山門各勤寺の松林坊賢海

にありて寺院再興あり 姓古の天台宗一百八ヶ寺の惣本寺しと云
奉る東照公外春日の代を因ら薩を致の本寺とし奉る云云
御云々といふ御中におのく正五九月大般若持齋の
しめ給ふ其頃常盤橋のふりありしものら小僧の所へつらりけり
今に云々しきまへと云明徳寺本寺と云ふる

○江北山宝聖院清水寺 上野末

開ふ意元文解 天長元年才 奉割 文徳元年 慶長法作中興し
本寺千石 勲善 意元大解 一乃之礼の代

塔中 福生院 昌福院 智象院 宝隆院

○正保山東照寺 信末 新改

○金剛山竜宝寺 信末 新改

○法竜山常福寺 信末 新改

○法江山金藏寺 信末 古一

○十輪山宗藏寺 奉徳末 古一

○南明山観音寺 奉徳末 古一

○赤城山梵音寺 上北末 古一

○赤城山神の社あり 信列善光寺乃梵音寺にありしれを文徳
末末より附屬也

○浄土宗佛閣

○田嶋山杖樂院誓願寺 寺領四百石 門前のくしる通

同基見蓮社東誉上人 紫衣地 十八世 現住東誉上人知和尚

本寺阿弥陀 春日作 上人善忠此寺ありて春日より云沙門
秋又よりしりある本寺なり

△綱川三尊 唐列河浦の岩屋より出現の夫傳わり此河浦ハ
本寺の所地なり此係別本寺家より別じ綱川の浦と云之

△灌 河城有にありし 移して東家と人よりして西寺の
つさねく成ししと云と云くちのし 元禄年中 一位権 僧
の河川開きし河ありてくく小く寺を本寺ありて移置し
てし

本寺、往古相列小田系にありしと云高野地へつらりし地ハ
西の寺丸の寺なりしものら後開くつらり又好神田へつらりし本
今も元禄形寺しと云明徳年中 高野よりつらり

△安養寺

松野の油人の内 寺凡百石

今孫より中 用養上人の時系創の寺之 用基世に院とし

- 塔中 牧牛院 林名院 受用院 法香院 西慶院
- 仁壽院 宝照院 彼宿院 林宗院 近接院 德正院
- 長慶院 九品院 長安院 本性院 宗因院

○化用山常照院淨念寺

寺凡百石 増上末

新寺所

用山性登上人露休大和尚 永祿年中系創 既任此還養上人

本寺阿弥陀 長三尺寸 慈覺大師化縁の寺とし 塔中以響

- △觀音堂 聖觀音 長三尺寸 慈覺大師化
- △法守渡唐天那 改内出取

塔中 惣信院 露信院 光成院 月松院 淨信院 林吉院

○東光山西福寺

寺領百石

知息末

旧所

用山心蓮社貞養上人願故和尚

本寺阿弥陀 安河孫化 鎮守并方天

出西寺 渡唐よりよりなる慶長年中後府山主階の寺時更長

○不老山女量寺壽松院

知息院末

元寺所

用山光蓮社善養上人林貞和尚

慶長十年大起和尚以修り上列の寺

大法寺にりる大朝和尚又天山寺と系創也 現任稱蓮社嚴養上人

物令にりる高徳よりり 龍治松の地より寺地を修る後居測りる

- 信入院 玉泉院 隆宗院 空聖殿院 峯林院 借雨院
- 長壽院 良祿院 紹隆院

○獅々吼山善法寺壽祿院

増上末

新寺所

用山樂安上人惣林和尚

享佳二酉起五昔八局以よりり云々

○一心山捨世寺 称性院

知恩末

比与可

用山白卷上人

慶長元年起立

△秀光天降六时仏月影の淨刹あり 塔中 通光店 良快店

此古の小田原にあり 慶長のは湯為く けり 之後又此地し

○光明山天嶽院

増上末

小与可

豐徳觀音 云々 佛あり

塔院 光樹院

貞松院

方波院

松樹院

○田中山清光寺

同末

門跡方

用山信譽上人

中興用山實譽上人

塔院 正光院

梅香院

秘真院

智徳院

○珠鴻山竜宝寺

百五通末

新与可

用山是應和尚

慶長年中起立

本寺表の所作

与中 長壽院

法月院

西光院

光恩院

得文院

祿名院

○用明山四天王院 聖徳寺

増上末

同所

○撰取山遍照院 新光明寺

知恩末

新与可

与中

松声院

青木院

貞学院

○普照山正定寺

増上末

○五臺山源空寺

知恩末

新与可

○信乐山正安寺

同

○壽福山行安寺

同

同末

○易住山欣澤寺

同

○実義山九品寺

同

山宿

○金定山万源寺

同

○清光山源源寺

同

新与可

○栄廣山貞源寺

同

○隨龜山誓教寺

同

同末

○天然山慈眼院

同

○遍照山長壽寺

同

同末

○莊嚴山法徳寺

同

○竜宝山廣大寺

同

同末

○白竜山之感寺

同

○住心山正法寺

同

同末

○透雲山宗秀寺

同

○正業山専光院

同

同末

寺中

東樹院

同

○莊嚴山宗秀寺

同

同末

○海鳩山宗福寺伝寧末 ○松應寺 大和末 現任天洲和尚

○真言 佛 閣

○阿舍山常滿寺 後持隆 ○神勝山成龍院 日未 日未

○空月山正福院 日 日 ○青林山龍福寺 日 日未

○麻子尾山吉祥院 日 日 ○恵日寺 日 日未

○伍鈕山大系院 後室集 日 ○王龍山定奉院 日 日未

波折不動 水晶輪并天

○廣幡山觀音院 後室集 日 ○將軍山密苑院 所室末 日未

○象形山智度院 後室集 日未 ○花園山清光院 所室末 日未

○岸松山仙慈寺 日未 日未 ○鶴亭山藏光院 日未 日未

○聚石山龍光寺 日未 日未 ○金知山宝珠院 所室末 日未

○神田山日輪寺 時宗 相列友沢末 日未

同山一遍上人 芝崎の道場と云 今も弥陀安河派作

尚寺の神田の... 初は知真坊上人... 藤沢山清淨光寺...

○一向宗 佛 閣

○東本願寺 所裏 京都輪番

同基督教如上人... 此上人の豊后大國の... 此上人の豊後大國の... 此上人の豊後大國の...

河内此の神田の所堂造りありの唐羊中ありあり
その麓に神田の神乃下今加が寺と云ふ所の井ありあり

塔頭 長教寺 法本寺 善照寺 瑞照寺 連行寺

高福寺 光秀寺 龍光寺 光光寺 西光寺 正行寺

等光寺 通光寺 宗恩寺 教光寺 宗光寺 長光寺

嚴念寺 善光寺 法融寺 法融寺 善照寺 長光寺

圓成寺 來應寺 明法寺 法光寺 法光寺 淨福寺

法善寺 泉照寺 淨正寺 淨通寺 淨光寺 明光寺

○高龍山報恩寺 元依沼報恩寺宿寺 寺領三石を有

開山聖心坊 大中良元祖才子し下依沼飯沼の宇の信舎建立

ありしに飯沼の天神文沙弥をありし紫の戸帳を信舎の

料に聖心坊へ賜り又法池の鯉をありしをありし其例に

ふく二月十日鯉二唯飯沼より今此每年毎々法池に

とて鏡解 尚寺よりありしは解神あり海へ二月廿日神建
いにしよありし 親寧上人六十三歳の所影 △同回生の及

△同生寺の教行記六冊 △河内野村の園

△蛇区の尖刀 いふありし時 △茶臼 庭まきとて茶臼

△聖人坊の去生の骨 聖人坊の去生の骨ありて奥列の王中より採り

類也寺 水光寺 長善寺 浄光寺 圓光寺

塔頭 林光寺 善光寺 光光寺 長光寺 真光寺

の念寺 西光寺 西光寺 竜淵寺 正法寺

○本光山善照寺 東本 新坊

開基明信 元布善福寺十六代目金起 善八世 秀道

尚寺相列小田ありあり何も交代ありしと云ふ事と云ふは廣敷の濱ありあり

一年建立ししと云ふ事と云ふは善照寺ありあり善照寺ありあり

二寺ありあり分派の河内は善照寺ありあり善照寺ありあり

教如上之感あり宝光と賜り 寺中 榮教寺 真教寺

○西勝寺

東本 寺中 皆庵寺 光持寺 万光寺

○朝倉の遍立寺

元主言堂 ○勝竜山等 光寺 東本

○兼満寺

日 日 〇妙高山正行寺 栗

○一身田流

○至心山觸光院唯念寺

高田流 寺領百廿五石

用基洋因權僧都

塔中

林末寺

乳香寺

南松寺

○先沢山滿志乳院秘念寺

同流

用山正傳權僧都法眼

塔中

觀名寺

乳信寺

東寺

雙寺

本行寺

右本寺は瀧池の沈寢寺と云ふ寺は一身田流を合し考分りて此流の心く本寺勢別高田山五量寺流に教書上人の身創りて寺領三百七十石此一身田建立は後醍醐院流嘉祿二年なり寺領寺建立は龜山院文永九年より高田より四十七年流し元組入寮十一年の流

○法華宗佛閣

浅草乃内

○妙祐山幸龍寺

本國寺末

寺領百廿石

比寺所

用基正心院日幸上人

寺中

奉了院

永楽院

大教院

大栄坊

善行坊

○大光山善喜寺

身延末

觸院

あー

用山寺公院日徳上人

寺中

十心院

真妙坊

中寺坊

善林坊

法性坊

○長遠山慶印寺

東陽院

妙教坊

秀秀坊

善行坊

寺中

善童院

浄泉院

法性院

善行院

善行坊

○善福山盛泰寺

日末

用山日国上人

寺中

春朝坊

延命坊

○清量山妙經寺 身業末古所 ○法花山実相寺 池末 古所

寺中 善性院 善下院 寺中 唯心院

○妙眼山本立寺 日 日不 ○妙栄山法泉寺 日 日不

寺中 善性院 後縁院 安立山長遠寺 日 日不

○頂昌山經王寺 日 日不 ○中將山大仙寺 日 日不

法樂山蓮妙寺 日 日不 真立山正光寺 日 日不

○妙法山玉泉寺 日 日不 ○千葉山安盛寺 妙法末 妙法末

○星頂山妙福寺 日 日不 ○妙光山常壽寺 日 日不

○源栄山長昌寺 日 日不 ○恩田山常林寺 日 古所

寺中 善性院 妙法末 寺 誠山正法寺 身業末 妙法末

○大雄山萃藏寺 妙法末 寺 ○妙手山妙壽寺 妙法末 古所

寺中 完昌院 妙法末 寺 長童山本法寺 妙法末 日不

○原立山妙高寺 妙法末 日不 ○千松山本性寺 妙法末 今戸

寺中 通玄院 妙法末 寺 宅樹山実相寺 日 日不

○宅樹山実相寺 日 日不

六 今戸

橋場 山谷 小塚原

足立郡 千住 荒川より小川足立郡なり

○今戸橋 金龜山のありし入場より後此を尾作す

○浅茅原 徳泉寺の川原の系を云

○妙龜塚 あらし系あり梅丸の母の墳なりしと云

妙龜堂より母云の所なり号妙龜大明神

○鏡池 日不 ひめ丸の母此池を云く梅丸のす

○宋女塚 日不 詳

寛文の比吉原堀所一今戸ありしと云ありし

或傳ふ女まどひふく心をこころと云はるを云く

くせりてくちふを云くけておを云く此塚の事なり

一 殿の世ゆりある時家女孫子の弟の末の末つゝ自害しをぬ
 何れも志すぬ縁なる事とて土身入捨らりな道より不
 識の出家をすす物なる事又家母もおや一人を
 およまのひて御弟の末の末つゝ自害しをぬ
 ひなりくならぬ十時十七歳なりしを御一のみ
 なるいと事ありて東州とておや山神の
 をあやしとておやの末の末つゝ自害しをぬ
 めをそしとておやの末の末つゝ自害しをぬ
 めとてありしとておやの末の末つゝ自害しをぬ
 たりおけ坊よりとておやの末の末つゝ自害しをぬ

○浅草橋

あさくさありとて 不詳

○隅田川の渡

橋の渡一太とて村本寺へする不詳

○石濱

石濱 日不

太平記 新田武義吉びと一聖の軍に足利の少負石濱を

川とてあるい今いへしとて云り

○石濱城

其不詳 里民の云い今戸村のりしとて

千葉系譜

桓武帝後胤千葉介兼胤の末葉石濱虎守胤ハ

子二郎惟胤の代に家臣園城寺を才盾におよ

一門にこゝとしてたふ惟胤は園城寺を才盾におよ

総列に入り後太田通灌をいめ武列石濱の城に居住

と云ふりて惟胤の末葉を石濱の流とて云ふ

○御留場

けしとて向い牛馬道の末の末つゝ自害しをぬ

○鐘ヶ淵

けしとて鐘ヶ淵の淵ありて今法源寺とて云ふ

○新所

あつ村にけしとておやの末の末つゝ自害しをぬ

○白山 新所 新下北川ありておやの末の末つゝ自害しをぬ

小石のりしをけしとておやの末の末つゝ自害しをぬ

○新編 新編 新編 今迄の下落する日中地(二月)不
 ○高尾の紅葉 志保(一)の(一)浩八寺にあり世傳六の(一)を
 土(一)の道指(一)弘願山吉祥院西方寺 某(一)雲(一)未 淨土宗
 洞山会(一)安(一)人 巡(一)幸(一)及(一)哲(一)任(一)職(一)に(一)あ(一)り(一)常(一)会(一)弘(一)榮(一)福(一)の(一)元(一)主
 道(一)心(一)者(一)し(一)徳(一)あ(一)る(一)僧(一)に(一)く(一)世(一)人(一)あ(一)る(一)寺(一)兩(一)の(一)中(一)に(一)あ(一)り(一)し(一)る(一)事(一)あり
 △行(一)か(一)ら(一)の(一)派(一)院 立(一)保(一)定(一)安(一)の(一)派(一)院 及(一)哲(一)の(一)持(一)律(一)なり
 △と(一)ら(一)ら(一)二(一)本(一)即(一)地(一)の(一)ら(一)に(一)わ(一)り(一)る(一)尾(一)下(一)の(一)ら(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり(一)三(一)浦(一)谷
 角(一)二(一)代(一)目(一)の(一)尾(一)の(一)墓(一)が(一)り(一)る(一)尾(一)下(一)の(一)ら(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり(一)と(一)下
 今(一)年(一)の(一)し(一)小(一)石(一)塔(一)に(一)地(一)蔵(一)を(一)向(一)り(一)は(一)志(一)保(一)安(一)を(一)救(一)心(一)百(一)法(一)二(一)年(一)と(一)り
 ○新編 新編 二(一)下(一)あり
 ○新田社 新編 新編 元(一)主(一)神(一)主(一)福(一)本(一)右(一)邊(一)持
 ○山(一)谷 新編 新編 山(一)谷(一)町(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり
 ○新編 新編 山(一)の(一)ら(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり(一)山(一)谷(一)町(一)の(一)別(一)院(一)あり

○合龍堂 日下 五(一)三(一)時(一)堂(一) 千(一)石(一)谷 桐(一)谷 浩(一)谷 地(一)藏(一)新(一)田
 ○小橋系村 百姓(一)所(一)人(一)入(一)組(一)の(一)不
 ○飛鳥社 小(一)橋(一)系(一)の(一)元(一)主(一)神 別(一)當 新(一)石(一)山(一)神(一)翁(一)寺
 祭(一)神 大(一)己(一)貴(一)命 事(一)代(一)主(一)命 二(一)座 向(一)社(一)を(一)ら(一)る(一)の(一)天(一)王(一)と(一)り
 同(一)基(一)子(一)孫(一)法(一)師 天(一)曆(一)年(一)中(一)の(一)落(一)在(一)小(一)橋(一)の(一)ら(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり(一)新(一)石(一)山(一)神(一)翁(一)寺
 あり(一)る(一)事(一)あり(一)あ(一)る(一)神(一)影(一)向(一)あり(一)思(一)存(一)を(一)ら(一)る(一)事(一)あり(一)新(一)石(一)山(一)神(一)翁(一)寺
 △瑞(一)老(一)石 小(一)橋(一)の(一)ら(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり(一)あ(一)る(一)神(一)影(一)向(一)あり(一)思(一)存(一)を(一)ら(一)る(一)事(一)あり(一)新(一)石(一)山(一)神(一)翁(一)寺
 を(一)新(一)石(一)山(一)神(一)翁(一)寺(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり(一)あ(一)る(一)神(一)影(一)向(一)あり(一)思(一)存(一)を(一)ら(一)る(一)事(一)あり(一)新(一)石(一)山(一)神(一)翁(一)寺
 ○山(一)王(一)社 日(一)下(一)の(一)ら(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり(一)山(一)谷 青(一)龍(一)山(一)福(一)壽(一)院(一)持(一)天(一)台 法(一)師(一)の(一)末
 ○千(一)住(一)大(一)橋 長(一)六(一)十(一)間(一)あり(一)荒(一)川(一)に(一)渡(一)り(一)し(一)る(一)事(一)あり(一)小(一)石(一)谷(一)郡(一)なり
 ○掃(一)部(一)河(一)原 大(一)橋(一)の(一)水(一)法(一)の(一)不(一)足(一)を(一)ら(一)る(一)事(一)あり(一)か(一)ら(一)ん(一)新(一)石(一)山(一)神(一)翁(一)寺
 ○掃(一)部(一)河(一)原 小(一)石(一)谷(一)の(一)ら(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり(一)か(一)ら(一)ん(一)新(一)石(一)山(一)神(一)翁(一)寺
 ○千(一)住 五(一)下(一)あり(一)與(一)た(一)中(一)の(一)ら(一)に(一)あ(一)り(一)る(一)事(一)あり(一)江(一)戸(一)より(一)二(一)里

○ 禪宗 佛閣

○ 妙亀山慈泉寺 曹洞宗 江戸三ヶ寺内 必府基總管寺未

用基学宗和尚 寺願二十石 石浜町三丁目

△千葉介常胤の石塔 今市郡宮原三郎ノ石塔あり

寺院 樹峰菴 松吟菴 妙亀菴 鏡池菴 正徳菴

○ 正量山福寿院 法泉寺

○ 雲龜山慶親寺 日流 羽別竜門寺未 今戸川一話

兩山 寺中 潮江院

高寺ハ法喜ニ為福寺ハ法喜ニあり 一対伴舟左京 年十二舟門末年十八

五人付早ニ入事あり 原屑物終ニ入事ハ此寺ニ死ニ去寺以テ

○ 表日山東禪寺 日風 法喜院寺未 新寺

高寺ハ此寺坊正元ノ寺 金佛の徳あり 六世法の一脈

○ 表龜山安昌寺 法喜寺 今戸 ○ 千陸山理昌院 大徳寺未 妙徳

○ 明生山坐山寺 日未 月一 ○ 心月山永信寺 永信寺未 妙徳

○ 淨土宗 佛閣

○ 飯命山正量壽院法源寺 増上末 けり

開山天信都智海法師 大同元丙戌三月十四日癸未七十九夜尾原溪

石場開基ト云々ト云信あり 二世 三世ト云信あり 略シ

△善光寺の如ク 不塔ト刻テ法源の地ト云々ト云信あり 時法未遠ク

△新屋別高実寺ト云信 寺永ニ癸卯五月

ひりー一人の老翁毎月の勤行ヲ勤ムル事ヲ一ツクノ老ト云信あり

此寺のゆくべきを定ムル大イ門の柱の新しき如クす 妙徳

△法名 傳原院前左金吾從五位徳山覚道真阿大居士

△傳原通念權 大丈景道石塔 五輪 延久二庚戌十月廿三日

△西段の松 実徳石塔の傍にあり 本末

○ 常照山心光院 増上末 今戸 ○ 月照山類白寺 増上末 妙徳

○ 常麻山玉佛院 日 妙徳 ○ 瑞雲山光照院 日 妙徳

○ 東光山源照寺 日 妙徳 ○ 名越山源照院 日 妙徳

○江守山瑞泉寺 日 日不 ○弘誓山大秀寺 日 日不

○後念山通称寺 日 山不 ○宋正山仰光寺 日 日不

○大蓮山廣徳寺 日 日不 ○月光山春香院 日 山不

○教童山并空寺 日 日不 ○光明通照寺 日 今戸

○芝池山松云寺 日 日不 ○福徳山海蔵寺 日 今戸

○一向宗

○旭日山淨土寺 栗 日不 ○清心山福徳寺 西未 今戸

○通川山蓮宗寺 東未 日不 ○如徳山廣徳寺 東未 日

○谷相山教徳寺 日 日不 ○林川山本竜寺 日 日

○天台宗

○八幡宮 八幡山岳量寺松林院 日未 今戸

○砂尾不動 砂尾山不動院橋場寺 日未 日不

○小幡系山王善寺 日未 日不 日未 山不

○鬼子母神 法花宗 善心山日慶寺 日未 今戸

七 下谷

池の端 坂本 金杉 箕輪

○下谷岡

風土記 貢、鹿、狐、兔、狸、山、鴉、雉、雀、等、又、貢、薯、蕷、蕨、松、脂、

○愚川 志のくはの池より流るなりなり 三味線場あり

○三救橋 志のくはの池より

○牛天神社 上野下 御連歌師宗近瀬河昌都持

祭神 北野宮 奈天神 本社 名所記云是上野の終寺なりとあり

五条天神、醫乃祖神なり 神代卷大己貴命与少彦名命經營

天下復爲蒼生及畜産定其療病之方 下略 少彦名命、高皇

彦灵尊の子也是即 五奈天神なり

前書云尚社ハ小奈氏康因東退治の後 大湯宮

牛のり終ひて柳を折りて立て建立し牛天神と号するなり

年を流く大坂ありし 寺ありは所中無してむすの

記をうゝるなりし記せり此時代を述べて小糸氏綱上は
 朝貞を亡せしハ大永四年なり享保十七年才七二百年に
 たり氏康ハ氏保の子なり又幸志忠法師 関東へ入りハ
 文明十八年なり享保十七年才七九二百年余に於てハ
 寛文法師小園記行ヨリ 文明九年正月廿二日ハ
 此ノ小園ノ園ノ優遊ハ 仰台院ノ社五條天神トシ
 仰りハ 仰台院ノ社五條天神トシ

此處で誰と云ふの紛るるに志の今昔の云のナリ
 ナリハ 油徳トシハ 下略 梅文明ハ太田道隆
 此ノの城子ありしころなり大永四年才七九二百年
 此ノを遺すの記を中興セシハ 享保なり又才天保ト云ハ
 小石川ありありハ 混ハ 此ノの川ハ 才天保ハ
 氏康ハ 中興の記ありて 建文トあり 志ノ川ハ
 此ノ社ハ 上野の内今 所本場ハ 志ノ川ハ 才天保ハ
 今ノ世ハ 上野ハ 産禰ナリ

○正一位稻荷社

下谷廣徳寺前

別當 慈雲正法院

紫一本 高社下谷廣徳寺 乃今ありト云下谷より出火ありて
 ありト云下谷廣徳寺一軒もヤケト云ありト云天野氏乃今ありト云
 の事ありト云寺社奉新ハ 祭礼ト云其後廣徳寺
 の事ハ 遷座ありト云 祭礼三月十五日

○三絃塙

佐竹右衛門尉中ノ前ノ御所ト云 紙ノ
 入ありト云 茶の塙の記ト云 三味線ト云 佐竹ト云

○柳原

夜堂大寺改夜中ノ前ノ御所ト云 柳原ト云 柳原ト云 廣小糸
 ト云 又柳原ト云 柳原ト云 柳原ト云 廣小糸ト云

○佛乃水

下谷にありト云 古麻子ト云 不詳

○幡隨院旧井池

池のくハ 板倉藩後中ノ前ノ御所ト云 柳原ト云 柳原ト云 廣小糸
 幡隨院の池ト云 妙竜水のくハ 妙竜水のくハ 今ハ 妙竜水ト云

○根岸里 昔の名不かり 元祿の頃印門主格より上方の寺を多く敷きせしむるとして国東のくさむすハ訛ありは取らざる卵かるるをなゆりなりとあり

北丘倫仙

○不忍池

東叡山の麓にて天台四觀の湖水浪まらざる

紅白の荷葉を水面をまきこきせしむる芝生のよし

諏訪かきし馬も車も車なり

池のふもとに三四所 長五七所あり 原は谷中千石木のそと

の流をいけり 遠古に下谷の岡村の村にあり 各所記云

むしり色を盡して死生寂りて乃のさうなり せきせきし池むらりあつたるに申すのよきあり せきせきし池むらりあつたるに申すのよきあり

弘せん 全野を思ふ 周りにてり 新にひるがへし 又風土記

篠輪津池 貢鯉 鮎 鰻 魚 鳩 雁 鶴 鶺鴒 鴨 等

周行十里許 程 旱日水不涸 霜雨不爲害 祈 旱 雨 入

讀于茲 所祭瀬織津比咩也とあり

式人問云 池也 十里とあるに不審き

里ハナリ 答云 埋りしん 又同 東南北ハ山あり 西一方平地なり 池は

下谷神田サマの池也 三里なり 深不審 案性古に里ハ町間ニ

あり 一里ハ五町あり 五町ハ五里あり 五里ハ五町あり 五町ハ五里あり

六町ハ六里あり 六里ハ六町あり 六町ハ六里あり 六里ハ六町あり

正教所院 天正年中 寺なり 池ハ三十六畝を表し 三十六町あり 三十六畝

法園ハ一里餘を築き 塚の中ハ松杉を植へ 信長公ハここに

に余の首を懸へしとあり 余の首を懸へしとあり 余の首を懸へしとあり

○中嶋辨才天社

壽永 別名 天竜山生池院

江州竹生池を遷す 神社階級 竹生嶋社 宇賀御魂神 在近江国淺井郡

長勝王經 云 辨才天 爲關津之長婦 又曰 在坂底及河邊 されを

高社ハ水谷伴勝也 遺立あり 又曰 實父の原ハそハ離れ 池ハそハ

山のくまの山姥あり橋をくまの聖天の小社ありむらさき

○六阿弥陀 五番目 室玉山長福寺 東康宗 上御藤

洞山行基并し

現任三十六番毫研

光明本をくまの洞山行基六阿弥陀の事なり謂所六阿弥陀

一番 禪宗 三縁山長福寺 且立敷本木 二番 三丁

二番 真言 甘露山延命院應味寺 且立敷下治田 三丁 十一丁

三番 日 佛室山西光院長福寺 豊徳郡西ノ原 四丁 十一丁

四番 日 宝珠山地藏院与来寺 日取 田端 五丁 廿丁

五番 春 室玉山常永院長福寺 日如東殿山麓 六丁 一丁半

六番 禪宗 西帰山聖雲院常来寺 葛原池戸

○長井庄 湯治八幡宮あり池原のありをくまの山姥あり

山居伝の地なりといふくまの天社の石坂下并夫の池に坐置

るを元の池なりといふ

○長井堤 池の東に中洲あり、は際輪洋乃橋なり池境の

なりといふ又妻恋坂の平海井原の中、まの池に土のありなる

ありけをくまの世人といふと、まの根所の土のまの土より掘りて土を

そののこせしけなりといふをくまの土をそののこせしけなり

○寶盛の墳 湯治の下。菰枝常刀夜中、まの池にあり

池古の事いへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、

いへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、

いへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、

いへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、

いへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、

いへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、

いへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、ゆかりいへば、

○小野照倚大明神 天台 別當小野山嶺照院 上野末 坂中

小野参議皇の靈社 坂中 坂中 奉祀九月五日

皇の御軍軍の精を 三代寶錄 小野 皇者弘仁年中

到参議情学洽同 兼 詠和歌 下略 又皇の不便の

その方朝庭にありて 璣 王宮の神遊 と 洛外の大

けい 皇 皇途の ゆ 色 一 あり 今 今 年 年 新 新 年 年 七月十日

△雲梯院の白毫院の別當 小野 皇の墓西 東 谷の墓

△上列足利の学 授 授 の 用 基 基 取 堂 の 東 小 房 の 皇

神 傳 傳 の 當 社 社 上 列 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承

の 舎 舎 の 世 傳 傳 儀 儀 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承

その ら 連 久 三 年 年 に 年 に 年 に 年 に 年 に 年 に 年

東 殿 殿 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承

小 野 野 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承



よ か 高 は 地 主 主 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承

の 先 先 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承

小 野 野 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承

○ 花 花 不 不 勤 勤 聖 聖 良 良 院 院 正 正 室 室 院 院

○ 唐 唐 申 申 堂 堂 日 日 流 流 在 在 室 室 院 院

聖 位 位 太 太 子 子 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承

○ 淨 淨 土 土 宗 宗 佛 佛 閣 閣

○ 神 神 田 田 幡 幡 隨 隨 院 院 新 新 知 知 息 息 寺 寺

同 山 山 智 智 尊 尊 丈 丈 幡 幡 隨 隨 白 白 通 通 和 和 尚 尚

上 人 人 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承

此 世 世 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承

求 む 上 人 人 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承

當 寺 寺 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承

今 の 皇 の 御 意 意 を 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承 け 承

師大慈を以て傳法を中より一人上人の法を承けし者ありて
 一血脈を承けし者ありて傳法を以て一人龍女淨觀にて
 法界を融じ是を教竜水と云ふ者あり天神下板金を以て
 可ありし一師廣後法ありし者あり又此師清浄水出り人
 井も今ありしを法ありし者あり白道和為の師王紀列名
 父を玉林と云元和元正八月五日入寂于時七十四春
 一教竜水 協約あり龍女の法必王譽教竜水と云ふ井あり
 一不濡石塔 白道和尚の筆 井あり
 寺院 源良院 向祖院 惠眼院 王竜院 智白院
 不化寮四十余宇

朝見山願成院永昌寺

開基鎮蓮社尊譽上人

天正年中長者則下右長者の手創りし石塔あり
 願成院申松浦肥前と云ふ御儀永昌院あり

増上末

現住寺主蓮社末法重阿闍梨

○月峰山宗源寺

増上末

下谷 ○常光山祇仰院

情隆末

此の寺

○紫雲山英信寺

吳岸末

日下 ○紫金山靜蓮寺

日

入谷

○子安山西蓮寺

黒谷末

日下 ○安国山良威寺

日

日下

○三宝山盛雲寺

吳岸末

日下 ○道見山東蓮寺

日

日下

○東国山西念寺

日

念教 ○極善山寂上寺

和泉末

日下

○心光山西光寺

賀末

日下 ○斤春山泰壽院

日

日下

○正学山清永寺

日

念教 ○佛名山万徳寺

日

日下

○正見山大音寺

日

此寺 ○月見山長松寺

日

日下

○陽徳山長光寺

増上末

念教 ○乳向山心所寺

法興末

此の寺

○油海山春春寺

厚田末

下中 ○津閑寺

増上末

念教

○天台宗

○金光山親王院

上野末

念教 ○慈光山正法寺

上野末

此の寺

○茶玉山善親寺

日

日 ○東光山宗生寺

日

日

○岩光山永久寺

上野末

念教 ○空玉山常楽院

日

日

○禪宗 佛 閣

○圓滿山廣法寺 大徳寺末

下谷

開山希使宗芋禪師 天正十九年小田原より入る

塔頭 徳雲院 桂法院 栄雲院 柳寺院 長春院

永秀院 魯眼院 桂香院 通玄院 貞空院 慈眼菴

○法林山正慶寺 惣寺 上ノ下 月峯慶寺 白雲寺 下谷

○潜竜山東淵寺 日 泉 月 峯 蒼嶽山梅林寺 浄興寺 下谷

○淨寂山休昌寺 日 泉 月 峯 台法山正定寺 天徳寺 下谷

○天徳山永昌寺 日 泉 月 峯 黄雲山竜谷寺 東昌寺 下谷

○覚法山浄善寺 日 泉 月 峯 法輪山泰宗寺 空勝寺 下谷

○廣沢山正洞寺 耕田末 坂中 功徳山天竜寺 大正寺末 下谷

○瑞光山月測寺 今地末 坂中 急水山法清寺 竜ヶ谷末 下谷

○万頂山高岩寺 集福末 坂中 普願山宗慶寺 茂林寺末 下谷

○浄善寺 坂中 浄善寺 下谷

○秀岩寺 漸高 弁財天ノ社あり 上野根原

高寺に石の末の末あり 掘二十七間あり 英凡四尺余

○東陽山正徳寺 妙栄末 坂中 高寺と云ふ所の名あり

高寺の苗をいふ所のあり 樹多弘明寺あり

○秋葉大権現 神島山真正寺 四谷天竜末 下谷

○真言 宗

○香明山西藏院 吉祥末 下下 竜泉寺 後末 下下

○藏破山世尊寺 日末 坂中 補陀落字寺 下谷

寺末 十石 栄王山一乗院 下谷末 下谷

○一向 宗

○向園山渡名院忠綱寺 東末 下谷七町下

高寺ハ渡名ニ越中ニ有テ徳の寺建之たり

○光明山西法寺 仏末 下谷

○長久山永祿寺 西末 今坂 福成寺 日 下谷

○隆徳寺 日 入谷

○法華宗佛閣

○報新山宗延寺

身延末

船瓦

下谷

同基日精上人 寺中

学成院

正理院

心方坊

去理坊

去珠坊

○運千山真類寺 身業

新所

○法林山蓮花寺

末法末

身延

○本野山光性寺 旧

七寺

○景珠山妙嚴寺

旧

七寺

○妙光山宗賢寺 旧

此夕

○妙園山岸授寺

旧

坂中

○盛林山大正寺 末法末

七寺

○佛立山真源寺

末法末

旧

○金龜山光光寺 末法末

下谷

○宝塔山威嚴寺

旧

旧

○宝聚山大久寺 多末

旧

○法住山要修寺

小湊末

旧

○法要山碓運寺 末法末

旧

○辰林山岸授寺

大石末

竹丁

○本立山長生寺 旧

此寺

○妙宣山法大寺

中末

身延

○修驗

○鳳閣寺

三空院 流江戶船瓦 下谷

二之卷軸

